

NO消費税

2026.2
第414号

発行 消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201
TEL 03-3940-0401 FAX 03-3949-9885

●郵便振替 00130-2-16922 ●1部170円(送料共) *1999年1月18日 第3種郵便物認可
●ホームページ <http://no-shouhizei.com/> *2026年1月25日発行(毎月25日発行)



- 目次●
- 「なくす会」を立ち上げ16年
地域の変化を実感……………(1)
- 私たちの思い……………(2)
- 暮らし、生業に役立つ経済教室⑦……………(3)
- 「民主的社会主義者」ママダニ氏が
ニューヨーク市長に……………(4)
- 東西南北(各地の取り組み)……………(6)
- みんなの声……………(7)
- 会報「ノー消費税」読者5300人の最
高現勢と消費税減税を実現する「1万人
対話運動」を共に取り組みましょう…(8)

学ぶことが活動のエネルギー



成人式の宣伝に参加した江南の会のみなさん
右から2人目が岩崎さん、3人目が服部さん

「最近、市内のスーパー前の宣伝の反応が変わってきた」と話すのは、江南の会の岩崎紗雪さんと服部正代さん。市内の3カ所のスーパーを順番に回って月に一度の署名宣伝を行っています。2人は「江南の会」を立ち上げた仲間です。16年間、共に活動をしてきた苦労や地域での

草の根の活動から

愛知・江南の会 岩崎紗雪さん・服部正代さん

「なくす会」を立ち上げ16年

地域の変化を実感

出合いを語ってくれました。

「社会保障のためにと財源をつくるなんておかしい、エッ出産にも消費税がとられるの!?!」と思い、本当に腹がたちました。1989年に消費税が導入されたときに岩崎さんが感じた怒りです。

翌年、春日井市で団地専従を担っているときに「なくす会」が結成され(1990年6月29日)全国に地域の会の結成が呼びかけられていることを知り、共産党の支部会議で話



シール投票の結果

し合い「藤山台の会」を結成しました。その後、転居をくり返しましたが、会報読者は継続していました。終の住処(すみか)と決めた江南市に移り住み、「消費税をなくす会はないの」と全国の会に問い合わせると「あなたがつくったら」と言われ、江南市に一人だけいた会報読者の服部さん(新婦人の社保部長)に声をかけて会を結成しました。以後、活動を継続して11年。読者も民商の会員さんと呼ばれてこつこつ増やしていまは16人に。「会報読者は貴重な活動財源」と位置づけ、会報の支援金で財政を賄い、マイクやのぼり旗、パンフなどを購入し、活動を豊かにしてきました。昨年の全国の会の総会に向けては会報読者5千人への訴えにも応えて読者を増やしました。

生活の厳しさ実感

活動の中心は月に一度の会議とスーパー前での署名宣伝行動です。会議では会報の読み合わせ、40代の民商事務局員の男性が情勢報告、討議を深めて次の活動を決めています。参加者は3〜4人。「学びが行動の